

科目名		授業形態	担当教員名	
医療福祉教育・関係法規		講義	正木 明子	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
15 時間（1 単位）		8 回	1 年次	前期
授業の目的・概要				
言語聴覚士に関する法規、言語聴覚士法について学ぶ。				
授業の到達目標				
「自分ならどうする」という臨床の視点から問題を捉え、医療従事者として必要な法律・倫理に関する知見を身につける。				
授業計画				
回	内容			
1	ガイダンス 授業目的の説明・なぜ医療関係法規を学ぶ必要があるのか			
2	医療関係法規とは何か			
3	医療従事者に関する法規			
4	医療が行われる場所に関する法規			
5	言語聴覚士の仕事に関わる倫理と法律			
6	インフォームド・コンセントおよび自己決定権			
7	QOLとQODを支える医療制度			
8	高齢社会における法的リスク			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	70%	医療関係法規の全体像を把握し、かつ言語聴覚士法を十分に理解している。		
レポート	30%	設定した課題について説明したうえで、自分なりの考えを述べることができる。		
小テスト				
平常点				
その他				
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
系統看護学講座 看護関係法令 健康支援と社会保障制度 4	森山幹夫		医学書院	
自由記載	プリント配布			
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
自由記載				
備考				